

足立コンシェルジュ養成講座

第1講 足立の成り立ちと地域特性

郷土への愛着につながるヒントと文化・歴史・地理案内の端緒をつかむ

講師 多田文夫氏略歴 昭和38年（1963）石川県金沢市に生まれる。駒沢大学大学院人文科学研究課修士課程修了。同博士後期課程満期退学（平成5年、1993）。『郷土役所市史編纂などの非常勤職員を経て、平成5年から足立区郷土博物館学芸員、現在にいたる。著書『古文書解説事典』（東京堂出版）、『東京都の地名』（平凡社）ほか。日本近世史専攻。足立区梅島在住。（史談文庫的 『森嶋外と「住」』多田文夫著より）

資料 足立区協働推進課 足立区観光課観光交流協会 足立区立博物館 足立史談会
〒俱文化普及会 団塊後漸ネットワーク（だんだん）ほか

ご挨拶

「足立ほがらかネットワーク」（ほがらか）は、区の協働推進課による団塊世代の地域回帰事業の研修講座の中から生まれた、支えあって暮らせる地域づくり・仲間づくりを目指すグループです。安心サポート事業とコミュニケーション事業の2本立てで、活動しています。

発足してまだ半年ですが、これまで介護保険などの公的支援の及ばない生活サポート、病院への通院の付き添い、イヌの散歩、爪切り、草取り、洗濯、家具の組み立てなどのお手伝いを有償ボランティアとして行ってきました。

コミュニケーション事業としては、パソコンでの年賀状の作成教室を開催、団塊世代向け料理教室（12月20日、Lソフィア）も募集中です。

「足立コンシェルジュ養成講座」は、まずは地域の実情を知ることから始め、行政や専門家と連携して、地域情報提供の案内人を養成し、問題解決の相談相手として支えあう社会を担うネットワークづくりのために企画されました。

「足立コンシェルジュ」という認証が、足立区民を「ほがらか」に結びつけ、さまざまな活動の信頼と自信の裏付けとなっていけるよう、第2弾、第3弾と講座を重ねていきたいと考えています。

まずは地域の暮らしをみつめ、どんな地域貢献ができるか、お仲間とともに探っていきませんか。引き続いての受講、「足立ほがらかネットワーク」へのご参加をお待ちしています。

平成21年12月6日 添田善雄